

2017年 暗号と情報セキュリティシンポジウム (SCIS2017) (2017 Symposium on Cryptography and Information Security) 論文募集

期日 2017年1月24日 (火)～1月27日 (金)
会場 ロワジールホテル那覇 (那覇市)

1. 概要

暗号と情報セキュリティシンポジウムは、暗号と情報セキュリティ技術に関する最新の研究成果を発表する場、および情報交換の場として、1984年以来毎年開催されているセキュリティ分野における日本最大規模のシンポジウムです。第34回となるSCIS2017は、沖縄県那覇市で開催いたします。

2. 募集テーマ

暗号および情報セキュリティに関する分野、特に新しく発展しつつある研究分野。募集テーマを以下に挙げますが、これらに限らずセキュリティ技術に関わる論文を広く募集します(査読による絞込みはありません)。

[募集テーマ例]

暗号理論、情報理論的安全性、数論応用、公開鍵暗号、IDベース暗号、楕円・超楕円曲線暗号、暗号化状態処理、ペアリング、共通鍵暗号、ハッシュ関数、乱数、署名、認証、鍵管理、量子セキュリティ、サイドチャネル攻撃、暗号プロトコル、フォーマルメソッド、ネットワークセキュリティ、ネットワーク攻撃検知・対策、マルウェア対策、Webセキュリティ、ユビキタスセキュリティ、クラウドセキュリティ、組み込みセキュリティ、モバイルセキュリティ、セキュアOS、電子透かし、コンテンツ保護、ソフトウェア保護、プライバシー保護、バイオメトリクス、バイオテンプレート保護、実装、教育・心理学、セキュリティ評価・モデル

※ 原稿に関する著作権は電子情報通信学会に属します。

3. 論文賞等

イノベーション論文賞

情報セキュリティ (ISEC) 研究専門委員会では2012年より全講演論文を対象としたイノベーション論文賞を設定しています。イノベーション論文賞は「新しい研究・技術開発」の奨励を目的としています。その奨励対象は理論的新規な論文に、情報通信技術での問題提起や新しい研究分野の提案も含まれます。多くの技術者・研究者による積極的なご発表をお願いいたします。

SCIS論文賞

情報セキュリティ (ISEC) 研究専門委員会では暗号と情報セキュリティシンポジウム (SCIS) の発展と活性化、並びに、暗号と情報セキュリティ分野で活躍する若手の奨励を目的として、1993年よりSCIS論文賞を設定しています。この分野に関連した多くの技術者・研究者による積極的なご発表をお願いいたします。

4. 開催場所

ロワジールホテル那覇
〒900-0036 沖縄県那覇市西3-2-1

5. 主なスケジュール

2016年	10月31日	発表申込み・参加申込み受付開始
	11月30日	発表申込み締切
	12月7日	発表題目・概要締切
	12月16日	原稿提出締切
2017年	1月6日	参加申込み締切
	1月24日～27日	SCIS2017開催

6. 申込み

参加・発表の申込みを10月31日より本シンポジウムのウェブページにおいて受け付ける予定です。

詳細は <http://www.iwsec.org/scis/2017/> を御参照ください。

投稿原稿は「概要アブストラクト：日本語500文字以内，英語1300文字以内」および「論文：8ページ以内（A4版，1.5MB制限）」をご準備ください。

7. 参加費用

参加費(事前登録) 一般 33,000円 学生 20,000円

懇親会参加費(事前登録) 一般 10,000円 学生 7,000円

8. 諸注意

参加・発表申込み及び原稿提出の各締切を厳守してください。

締切以降の提出は一切受け付けられません。

原稿に関する著作権は電子情報通信学会に属します。

9. 問い合わせ

不明な点は下記にお問い合わせください。

[scis2017\(at\)ml.nict.go.jp](mailto:scis2017(at)ml.nict.go.jp)

[主催] 電子情報通信学会 情報セキュリティ研究専門委員会 (ISEC研)

[協催] 電子情報通信学会 バイオメトリクス研究専門委員会 (BioX研)

電子情報通信学会 情報通信システムセキュリティ研究専門委員会 (ICSS研)

電子情報通信学会 ハードウェアセキュリティ時限研究専門委員会 (HWS研)

情報処理学会 コンピュータセキュリティ研究会 MWS組織委員会